

様式第1号

令和7年6月12日

上田市長 土屋陽一 殿

〔設置者の名称〕 公立大学法人長野大学

〔代表者の役職〕 理事長 〔代表者の氏名〕 平井利博

大学等における修学の支援に関する法律第3条第1項の確認に係る申請書

○申請者に関する情報

大学等の名称	長野大学
大学等の種類 (いずれかに○を付すこと)	(大学)・短期大学・高等専門学校・専門学校
大学等の所在地	長野県上田市下之郷 658-1
学長又は校長の氏名	学長 小林淳一
設置者の名称	公立大学法人 長野大学
設置者の主たる事務所の所在地	長野県上田市下之郷 658-1
設置者の代表者の氏名	理事長 平井利博
申請書を公表する予定のホームページアドレス	https://www.nagano.ac.jp/

※ 以下のいずれかの□にレ点 (☑) を付けて下さい。

- 確認申請
大学等における修学の支援に関する法律施行規則第5条第1項に基づき確認申請書を提出します。
- 更新確認申請書の提出
大学等における修学の支援に関する法律施行規則第5条第3項に基づき更新確認申請書を提出します。

※ 以下の事項を必ず確認の上、すべての□にレ点 (☑) を付けて下さい。

- この申請書 (添付書類を含む。) の記載内容は、事実と相違ありません。
- 確認を受けた大学等は、大学等における修学の支援に関する法律 (以下「大学等修学支援法」という。) に基づき、基準を満たす学生等を減免対象者として認定し、その授業料及び入学金を減免する義務があることを承知しています。
- 大学等が確認を取り消されたり、確認を辞退した場合も、減免対象者が卒業するまでの間、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。

- この申請書に虚偽の記載をするなど、不正な行為をした場合には、確認を取り消されたり、交付された減免費用の返還を命じられる場合があるとともに、減免対象者が卒業するまでの間、自らが費用を負担して、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。
- 申請する大学等及びその設置者は、大学等修学支援法第3条第2項第3号及び第4号に該当します。

○各様式の担当者名と連絡先一覧

様式番号	所属部署・担当者名	電話番号	電子メールアドレス
第1号	総務・人事・施設担当 菊池行則	0268-39-0001	soumu@nagano.ac.jp
第2号の1	教育支援担当 久保田亜希子	0268-39-0017	kyoumu@nagano.ac.jp
第2号の2	総務・人事・施設担当 菊池行則	0268-39-0001	soumu@nagano.ac.jp
第2号の3	教育支援担当 久保田亜希子	0268-39-0017	kyoumu@nagano.ac.jp
第2号の4	総務・人事・施設担当 菊池行則	0268-39-0001	soumu@nagano.ac.jp

○添付書類

※ 以下の事項を必ず確認し、必要な書類の□にレ点 (☑) を付けた上で、これらの書類を添付してください。(設置者の法人類型ごとに添付する資料が異なることに注意してください。)

「(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置」関係

- 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）《省令で定める単位数等の基準数相当分》

「(2)①学外者である理事の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の設置者の理事（役員）名簿

「(3)②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織に関する規程とその構成員の名簿

「(4)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」関係

- 客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）《省令で定める単位数等の基準数相当分》【再掲】

その他

- 《私立学校のみ》経営要件を満たすことを示す資料
- 確認申請を行う年度において設置している学部等の一覧

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	長野大学
設置者名	公立大学法人長野大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
社会福祉学部	社会福祉学科	夜・通信	36	2	75	113	13	
環境ツーリズム学部	環境ツーリズム学科	夜・通信		2	22	60	13	
企業情報学部	企業情報学科	夜・通信		0	8	44	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.nagano.ac.jp/outline/education_announcement/files/12_02.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	長野大学
設置者名	公立大学法人長野大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページで公表 https://www.nagano.ac.jp/outline/corporate_announcement/files/list_yakuin.pdf
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	神田法律事務所 弁護士	2021. 4. 1～ 2025. 3. 31	法務
非常勤	長野県経営者協会 専務理事	2021. 4. 1～ 2025. 3. 31	地域創生
非常勤	株式会社セルバンク 取締役	2021. 4. 1～ 2025. 3. 31	経営戦略
非常勤	コネクテックジャパン 株式会社 監査役	2024. 4. 1～ 2025. 3. 31	将来構想
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	長野大学
設置者名	公立大学法人長野大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>									
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>【授業計画(シラバス)の作成過程】下表は、2024年度スケジュール</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日程</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1月8日(水)～1月24日(金)</td> <td>シラバス入力期間</td> </tr> <tr> <td>2月3日(月)～28日(金)</td> <td>シラバスチェック及び修正期間</td> </tr> <tr> <td>3月3日(月)～13日(木)</td> <td>結果とりまとめ</td> </tr> </tbody> </table> <p>※カリキュラム未決定科目など上記日程で進められない科目があります。</p> <p>【授業計画の作成・公表時期】 3月14日(金)公表</p> <p>【公表方法】 シラバスに各授業科目の授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を明記しており、当該シラバスは大学ホームページページ(WEB シラバス)で公表している。 シラバス</p>		日程	内容	1月8日(水)～1月24日(金)	シラバス入力期間	2月3日(月)～28日(金)	シラバスチェック及び修正期間	3月3日(月)～13日(木)	結果とりまとめ
日程	内容								
1月8日(水)～1月24日(金)	シラバス入力期間								
2月3日(月)～28日(金)	シラバスチェック及び修正期間								
3月3日(月)～13日(木)	結果とりまとめ								
授業計画書の公表方法	https://camxs.nagano.ac.jp/campusweb/slbssrch.do								
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>									
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>各科目の評価については、シラバスに「成績評価方法」を明記し、厳格かつ適正に評価を行っている。</p>									

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>【指標の算出方法・実施状況】</p> <p>当該学期における学修の状況及び成績を示す指標としてのGPA（以下「学期GPA」という。）並びに在学中における全学期の学修の状況及び成果を示す指標としてのGPA（以下「累積GPA」という。）の2種類とする。</p> <p>なお、学期GPA及び累積GPAの計算式は、以下の計算式によるものとし、算出された数値の小数点第3位以下は四捨五入するものとする。</p> <p>○学期GPAの計算式 $\text{学期GPA} = (\text{当該学期の「秀の単位数」} \times 4 + \text{「優の単位数」} \times 3 + \text{「良の単位数」} \times 2 + \text{「可の単位数」} \times 1) / (\text{当該学期の総履修登録単位数 (対象外を除く)})$</p> <p>○累積GPAの計算式 $\text{累積GPA} = (\text{全期間の「秀の単位数」} \times 4 + \text{「優の単位数」} \times 3 + \text{「良の単位数」} \times 2 + \text{「可の単位数」} \times 1) / (\text{全期間の総履修登録単位数 (対象外を除く)})$</p> <p>【公表方法】</p> <p>大学ホームページ「大学情報の公表（学修の評価に係る評価及び卒業の認定あたっの基準）」で公表している。</p> <p>【成績の分布状況の把握】</p> <p>学生の成績の分布状況を把握するための各学部の資料（グラフ・表）を作成し、大学教育センター運営委員会および学部教授会で確認している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>https://www.nagano.ac.jp/outline/education_announcement/files/12_04.pdf</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>【卒業の認定方針の具体的内容】</p> <p>①原則在学期間が4年未満の者については卒業としない。</p> <p>②卒業所要単位数を満たすだけでなく、各学科の必修、選択必修等を満たして卒業となる。</p> <p>③学費未納者については、学費納入後に履修科目の単位認定を行う。</p> <p>④社会福祉学部所属学生の卒業判定は社会福祉学部教務委員長が、環境ツーリズム学部所属学生の卒業判定は環境ツーリズム学部教務委員長が、企業情報学部所属学生の卒業判定は企業情報学教務委員長が、それぞれ学部教授会で提案する。</p> <p>【卒業要件】</p> <p>社会福祉学部124単位、環境ツーリズム学部125単位、企業情報学部125単位</p> <p>【卒業の認定方針の適切な実施状況】</p> <p>上記、認定方針に基づき卒業判定を実施し、2024年度は353名の卒業生を輩出した。</p> <p>【卒業の認定方針の公表方法】</p> <p>大学公式ページ「教育情報の公表（6 学修の評価に係る評価及び卒業の認定あたっの基準/学位授与方針（ディプロマポリシー）」で公表している。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>https://www.nagano.ac.jp/outline/education_announcement/</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	長野大学
設置者名	公立大学法人長野大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.nagano.ac.jp/outline/corporate_announcement/files/20240912-163814-3614.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.nagano.ac.jp/outline/corporate_announcement/files/20240912-163814-3614.pdf
財産目録	
事業報告書	https://www.nagano.ac.jp/outline/corporate_announcement/files/20240903-100037-5810.pdf
監事による監査報告(書)	https://www.nagano.ac.jp/outline/corporate_announcement/files/20240805-102832-5614.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: ホームページで公表 https://www.nagano.ac.jp/outline/corporate_announcement/files/20240906-170245-6504.pdf
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: ホームページで公表 https://www.nagano.ac.jp/outline/education_announcement/certification/
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 社会福祉学部／環境ツーリズム学部／企業情報学部
教育研究上の目的（公表方法：ホームページで公表） https://www.nagano.ac.jp/outline/education_announcement/
（概要） 大学公式ページ「教育情報の公表（1 教育研究上の目的）」で各学部・学科の教育上の目的を公表している。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：ホームページで公表） https://www.nagano.ac.jp/outline/education_announcement/
（概要） 【卒業の認定方針の具体的内容】 ①原則在学期間が 4 年未満の者については卒業としない。 ②卒業所要単位数を満たすだけでなく、各学科の必修、選択必修等を満たして卒業となる。 ③学費未納者については、学費納入後に履修科目の単位認定を行う。 ④社会福祉学部所属学生の卒業判定は社会福祉学部教務委員長が、環境ツーリズム学部所属学生の卒業判定は環境ツーリズム学部教務委員長が、企業情報学部所属学生の卒業判定は企業情報学教務委員長が、それぞれ学部教授会で提案する。 【卒業要件】 社会福祉学部 1 2 4 単位、環境ツーリズム学部 1 2 5 単位、企業情報学部 1 2 5 単位 【卒業の認定方針の適切な実施状況】 上記、認定方針に基づき卒業判定を実施し、2 0 2 4 年度は 3 5 3 名の卒業生を輩出した。 【卒業の認定方針の公表方法】 大学公式ページ「教育情報の公表（学位授与方針／ディプロマポリシー）」で公表している。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページで公表） https://www.nagano.ac.jp/outline/education_announcement/
（概要） 大学公式ページ「教育情報の公表（5 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業計画／教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）」で公表している。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページで公表） https://www.nagano.ac.jp/outline/education_announcement/
（概要） 大学公式ページ「教育情報の公表（4 入学者に関する受入方針、入学者の数、収容定員、在学生の数、卒業者の数、進路状況／入学者に関する受入方針（アドミッション・ポリシー）」で公表している。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：ホームページで公表

<https://www.nagano.ac.jp/outline/about/organization/files/01.pdf>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
社会福祉	—	12人	15人	1人	0人	0人	28人
環境ツーリズム	—	8人	4人	1人	0人	0人	13人
企業情報	—	8人	5人	0人	0人	0人	13人
共創情報科学部設置準備室	1人	5人	4人	1人	1人	0人	11人
淡水生物学研究所	—	1人	1人	0人	0人	0人	2人
地域づくり総合センター	1人	1人	0人	0人	0人	0人	2人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員			計	
0人			82人			82人	
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：ホームページに掲載 https://www.nagano.ac.jp/faculty/staff/					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
社会福祉	150人	159人	106%	630人	639人	101%	15人	12人
環境ツーリズム	95人	106人	112%	390人	407人	104%	5人	1人
企業情報	95人	108人	114%	390人	424人	109%	5人	1人
合計	340人	373人	110%	1,410人	1,470人	104%	25人	14人
(備考)								

b. 卒業生数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
社会福祉学部	162人 (100%)	3人 (1.9%)	147人 (90.7%)	12人 (7.4%)
環境ツーリズム学部	95人 (100%)	2人 (2.1%)	88人 (92.6%)	5人 (5.3%)
企業情報学部	96人 (100%)	1人 (1.0%)	86人 (89.6%)	9人 (9.4%)

合計	353人 (100%)	6人 (1.7%)	321人 (90.9%)	26人 (7.4%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
○社会福祉学部 東京都庁／長野県庁／上田市役所／東御市役所／中信社会福祉協会／かりがね福祉会／敬老園／東都保健医療福祉協議会／日本郵便／ジェイテクト／ふじみ野市社会福祉協議会／北海道電力／東京海上日動火災保険／国興／イオンリテール／金宝堂／上尾中央医科グループ／東京都教育委員会／長野県教育委員会／長野大学大学院／上越教育大学大学院				
○環境ツーリズム学部 福井県庁／佐久市役所／高速／松山／沖縄県環境科学センター／長野電鉄／日本交通／JA 全農長野／マルイチ産商／シチズン時計マニュファクチャリング／スターバックスコーヒージャパン／サントリービバレッジソリューション／協立エンジニアリング／筑波大学大学院				
○企業情報学部 防衛省／魚津市役所／八十二銀行／セキチュー／綿半ホームエイド／R&C ながの青果／コロナ／青木固研究所／山洋電気テクノサービス／エラン／カネト／サンクゼール／ミマキエンジニアリング／リントツ／スクロール／静岡ガス／エムケー精工／エブソンヴァシス／シナノケンシ／長野こまち／日精樹脂工業／ホクト				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
社会福祉	168人 (100%)	158人 (94.0%)	4人 (2.4%)	6人 (3.6%)	0人 (%)
環境ツーリズム	103人 (100%)	94人 (91.3%)	3人 (2.9%)	6人 (5.8%)	0人 (%)
企業情報	98人 (100%)	90人 (91.8%)	5人 (5.1%)	3人 (3.1%)	0人 (%)
合計	369人 (100%)	342人 (92.7%)	12人 (3.3%)	15人 (4.1%)	0人 (%)

(備考) 入学者数・就業年限期間内卒業修了者には編入生も含む

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

【授業計画(シラバス)の作成過程】下表は、2024年度スケジュール

日程	内容
1月8日(水)～1月24日(金)	シラバス入力期間
2月3日(月)～2月28日(金)	シラバスチェック及び修正期間
3月3日(月)～3月13日(木)	結果とりまとめ

※カリキュラム未決定科目など上記日程で進められない科目があります。

【授業計画の作成・公表時期】
3月14日(金)公表

【公表方法】
シラバスに各授業科目の授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を明記しており、当該シラバスは大学ホームページページ(WEBシラバス)で公表している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)
大学ホームページ「教育情報の公表(6学修の評価に係る評価及び卒業の認定あたる基準)」で公表している。

学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
社会福祉	社会福祉	124単位	有・無	1-3年次 40単位 4年次 60単位
環境ツーリズム	環境ツーリズム	125単位	有・無	
企業情報	企業情報	125単位	有・無	
GPAの活用状況(任意記載事項)		公表方法:		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法:		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://www.nagano.ac.jp/outline/campus/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他 教育充実費	備考 (任意記載事項)
社会福祉	社会福祉 (上田地域定住 自立圏域内)	580,000 円	282,000 円	60,000 円	
	社会福祉 (上田地域定住 自立圏域外)	580,000 円	423,000 円	60,000 円	
環境ワ-リス-ム	環境ワ-リス-ム (上田地域定住 自立圏域内)	580,000 円	282,000 円	60,000 円	
	環境ワ-リス-ム (上田地域定住 自立圏域外)	580,000 円	423,000 円	60,000 円	
企業情報	企業情報 (上田地域定住 自立圏域内)	580,000 円	282,000 円	60,000 円	
	企業情報 (上田地域定住 自立圏域外)	580,000 円	423,000 円	60,000 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 特待生・奨学金制度 https://www.nagano.ac.jp/campus_life/tuition/scholarship/ 授業料減免制度 (高等教育の修学支援新制度)
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) キャリア・就職情報 https://www.nagano.ac.jp/campus_life/career_support/
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) ・保健室／学生相談について https://www.nagano.ac.jp/campus_life/support/counseling/ ・学生健康診断 (学生健康診断実施後フォローアップ及び学生健康診断未受診者への受診 勧奨、健康相談等) ・こころと身体の健康に関する WEB 問診の実施及び事後フォローアップ

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページで公表 https://www.nagano.ac.jp/community_collaboration/joint/ 備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	F120210105813
学校名 (〇〇大学 等)	長野大学
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	公立大学法人長野大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等 (内数) ※家計急変による者を除く。		199人 (ー) 人	194人 (20) 人	一人 (0) 人
内訳	第Ⅰ区分	96人	88人	
	(うち多子世帯)	(0人)	(0人)	
	第Ⅱ区分	52人	53人	
	(うち多子世帯)	(0人)	(0人)	
	第Ⅲ区分	43人	33人	
	(うち多子世帯)	(0人)	(0人)	
	第Ⅳ区分 (理工農)	0人	0人	
	第Ⅳ区分 (多子世帯)	一人	20人	
区分外 (多子世帯)	0人	0人		
家計急変による 支援対象者 (年間)				一人 (0) 人
合計 (年間)				210人 (20) 人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等 短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当)	—	人	人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	人	人
計	—	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等 短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
年間	0人
前半期	人
後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	一人	人	人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が警告の基準に該当)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	27人	人	人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。